

No. 25
68 9.28

教員文學部

アリケード左駄場に、幡谷に、大塚金城に

とが語る所の如きの事時、若海は即ち口に言つて、七月以来我ワが追求して之に全学アトは、教員部を深く形色はあるが現在実現され、教授の知能はとの連合を深めこじる。我ワはこの成果を國立の攻セの範面へと活かしていかねばならぬ。

我々の本館・日館パリカード封鎖斗争は、農初投票をして、六二〇白紙勧告決議を出さしめるに至る。

日本に歓迎して下さいものであろうか?今回の決議は、理屈のスト斗争と同時に、我々の此い時代にへと転

していふ。無波移転審議の全面的白紙還元」とは直ちに海賊船のつくものではなし。何故なら、農業委員会が決

色の想ひ出で、丁調査ヒ計上が手續上若キおほし小
口」或いは、「この紛争を何とか終止する」事

スト終結の為の若干の譲歩にすきな。我々は、
の「譲歩」に決して幻想を抱くことなく、評議会と

口を解散をめざしてストライキ確立をめらとするべく、筆者等がこの間の筆の戦いの力にすこしておる。

君は、学生大会後の弛緩に己の態を打破し、にわか地獄即ち反への竹槍、心力を養ひのべく、現在の

に他学部学友への仰きが門を構めるべく、現在の面を正確に把握し、他学部との合同クラス討論を展

のうゆる被害を行ひ、試験阻止を要請せし。農業機会の活動に代表される現在の流動化せる昌

スケジュー

28日
8:30~
試験阻止行動

12:00～
福田MP委員長
との大衆団交
3:00～
別設会議場会
(G406)

30
3:00～
記説集会
一社委員会
例会

10月3日
10:00~
ZT103
大津起業会

的蓄積を最大限に生かせ
以便に前進しつゝある

新嘉坡移粉砂

卷之三

卷之三

27

教育大の学生友諸君、十五日までに民マロウ教授の動搖を更に深化させ、試験阻止を叫ぶとする中から大学当局との対決を鮮明にし、③坐學又トの内裏を門へ委命部へとつくり上げられぼうり。この短期間に我々は、これ二つの理論的実験的基盤を最大限に生かす活用法を確立する機会へ且

らです。それでは転換止身革における大學革新の内容を述べておきたいと思います。
第一に、反諸君の試験下ゴットが挙がる
成績として存在するのではなく、これを再確認し、
試験阻害庄重的に打ちとろうとしたのが學友會
各个理教會は、理前學生の果敢な身内にもかか
ねらず試験を強行せんとしている。我々は断乎これ
を粉碎せねばならぬ。又授用の我々の身争に制す
る抑止は絶対に許してはならぬ。一般初養語
學校取閥係等の試験を完全に阻止し、我々の身争戦